

(4) 国有林野の維持及び保存

○ 森林の巡視等の活動及び森林病虫害の防除

世界自然遺産や日本百名山のように来訪者が集中し、植生の荒廃等が懸念される国有林野において「グリーン・サポート・スタッフ」による巡視やマナーの啓発活動、植生保護のための柵の整備等を実施。

また、地方公共団体や地域住民と連携して、松くい虫被害やナラ枯れ等の森林病虫害の拡大を防ぐための対策を実施。

《事例》グリーン・サポート・スタッフによる森林の保全管理の取組

〔北海道斜里郡斜里町〕（北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター）

登山者や入込者の集中による植生荒廃やゴミの不法投棄等が懸念されている知床世界自然遺産登録地の国有林において、グリーン・サポート・スタッフによる巡視や利用マナーの普及啓発を行い、森林生態系の保全管理に取り組んでいます。



外来植物であるアメリカオニアザミを駆除している様子

《事例》ボランティア体験を通じた「楯の松原」保全の取組

〔福岡県糟屋郡新宮町〕（九州森林管理局 福岡森林管理署）

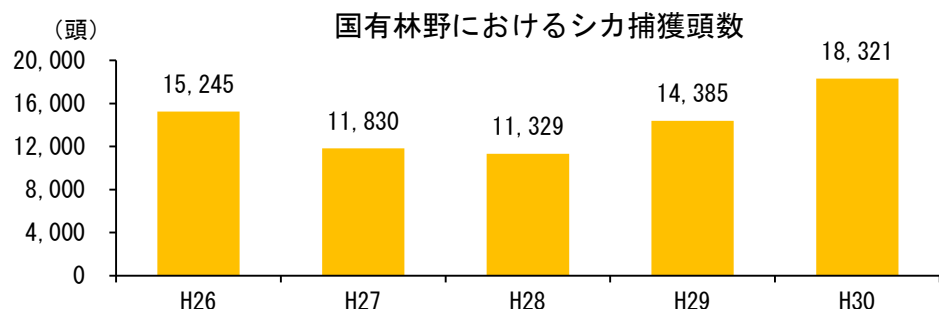
強風や飛砂、高潮の害を防ぎ、地域住民の生活に欠かすことのできない松原を保護するため、薬剤の散布や被害木の伐倒駆除等による松くい虫被害対策に取り組んでいます。また、「筑前神宮に白砂青松を取り戻す会」等の地域関係者と連携して、地元の県立高校に通う2年生395名が実施する「楯の松原」内の森林整備について技術指導を行いました。



ボランティア体験活動の様子

○ 鳥獣被害の防除

シカなど野生鳥獣による被害を防止するため、地域の関係行政機関やNPO等と連携し、地域の特性に応じた、生息環境管理や個体群管理、防護柵設置等の被害防止対策を実施。



注：国有林野における有害鳥獣捕獲等（一般ハンターによる狩猟は含まない）による捕獲頭数の合計（各年度末現在の値）。

《事例》ICTを活用したシカ捕獲通知システム

〔高知県安芸市ほか〕（四国森林管理局）

これまで受信範囲が限定されていた捕獲通知システムについて、簡易無線通信を中継することで、遠隔地から捕獲状況を確認する手法の開発を行っています。

簡易無線通信の中継機を搭載した無人航空機をわな上空で旋回させることで、わなから送信される作動状況の中継し受信機へ通知する方法と、区域内に据え付けた中継機を経由してリアルタイムでわなの作動状況をスマートフォン等に通知する方法の実証試験を行い、いずれの方法も現地で利用可能であり、わなの巡回作業を大幅に軽減できるという結果が得られました。



無人航空機を活用したわな捕獲通知システムの概要図



受信機に一括表示されたわなの作動状況

○ 優れた自然環境を有する森林の維持・保存

原生的な天然林をはじめとした生物多様性保全の核となる森林生態系等を有する国有林野について「保護林」や「緑の回廊」に設定。また、保護林について、生物多様性保全に対する国民の認識の高まりや学術的知見の蓄積を踏まえ、平成27年9月に保護林制度の改正を行い、保護林区分の再編や「復元」の考え方の導入などにより、適切な保護・管理を推進。

また、研究機関や地方公共団体等との連携を図りながら、国有林野内に生育・生息する希少な野生生物の保護を推進。

保護林の区分

保護林区分	箇所数	面積 (万ha)	特 徴	代表的な保護林 (都道府県)
森林生態系 保護地域	31	70.1	我が国の気候帯または森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理	しれとこ 知床（北海道）、 しらかみさんち 白神山地（青森県、秋田県）、 おがさわら 小笠原（東京都）、 やくしま 屋久島（鹿児島県）
生物群集 保護林	96	23.7	地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理	やつがたけ 八ヶ岳（長野県）、 つるぎさん 剣山（徳島県）、 ふげんだけ 普賢岳（長崎県）
希少個体群 保護林	540	4.0	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理	かりばやませつでんしよくせい 狩場山雪田植生（北海道）、 せんじゅがはら 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ（栃木県）、 こうやさん 高野山コウヤマキ（和歌山県）
合計	667	97.8		

《事例》 森林生態系保護地域における高山植物の保全に向けた取組

〔岩手県宮古市ほか〕（東北森林管理局）

近年、ニホンジカの生息密度の増大と高山植物への食害の増加が確認された早池峰山周辺森林生態系保護地域において、貴重な高山植物を保全するために、県、地元関係者、学識経験者と連携して、コアツモリソウやハヤチネウスユキソウ等の生育地に防護柵を設置しました。



コアツモリソウ生育地での
防護柵のネット張りの様子



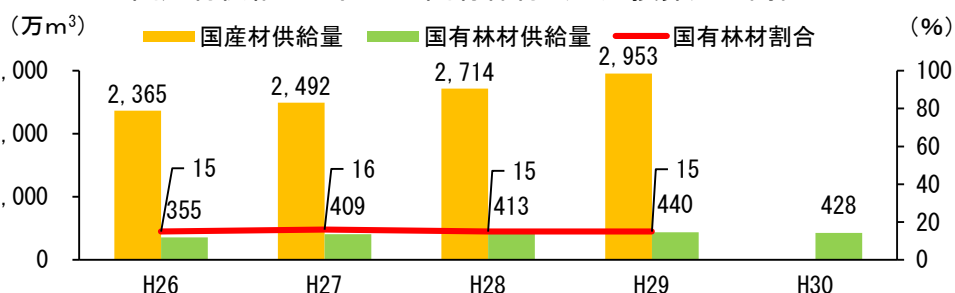
早池峰山固有種の
ハヤチネウスユキソウ

(5) 国有林野の林産物の供給

○ 国有林材の安定供給と需要の拡大

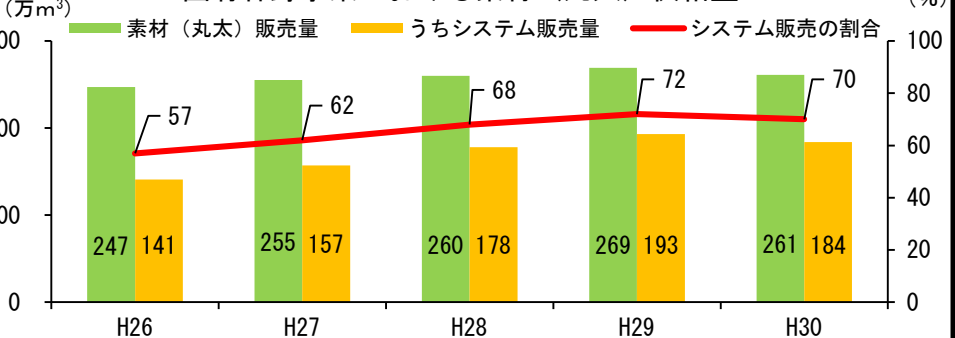
機能類型区分ごとの管理経営の考え方に応じた施業の結果得られる木材の持続的・計画的な供給に努め、これまで未利用であった小径木等についても、安定供給を通じて新たな需要の開拓を実施。特に、民有林との連携を含め国産材の需要拡大や加工・流通の合理化に取り組む集成材・合板工場や製材工場等と協定を締結し、国有林材を安定的に供給する「システム販売」を推進。

国産材供給量に占める国有林材（丸太換算）の割合

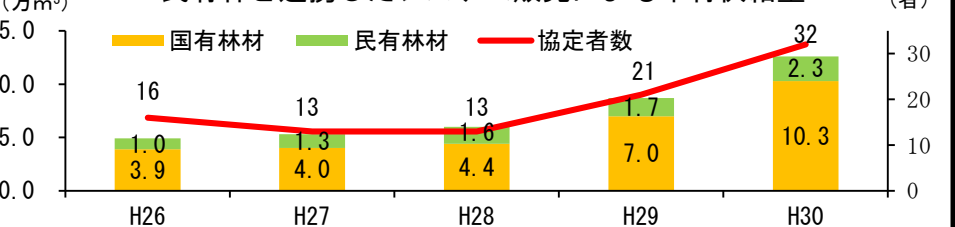


注：国産材供給量は、林野庁「木材需給表」（用材、しいたけ原木、燃料材の供給量で、暦年の合計）となっている。（平成30年の木材需給表が未確定のため、平成30年の国産材供給量及び国有林材割合の数値は記載していない。）

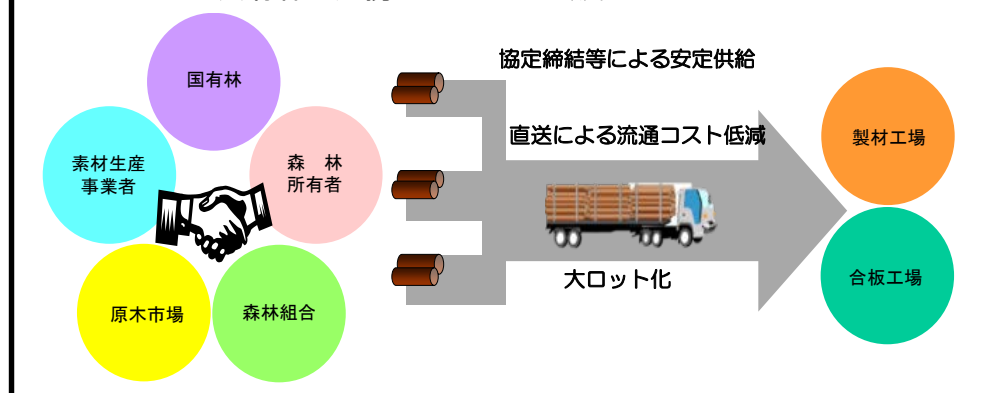
国有林野事業における素材（丸太）供給量



民有林と連携したシステム販売による木材供給量



民有林と連携したシステム販売のイメージ



《事例》 民有林と連携したシステム販売の推進

なすしおぼらし
〔栃木県那須塩原市ほか〕（関東森林管理局）

民有林における施業の集約化、未利用間伐材等の有効利用等の取組を促進するため、民有林所有者等と連携したシステム販売の取組を進めています。新規の民有林所有者等の参加が得られるよう、連携したシステム販売の目的、協定までの手続き、メリット等を説明し、システム販売への参加を働きかけました。



高性能林業機械による造材作業の様子

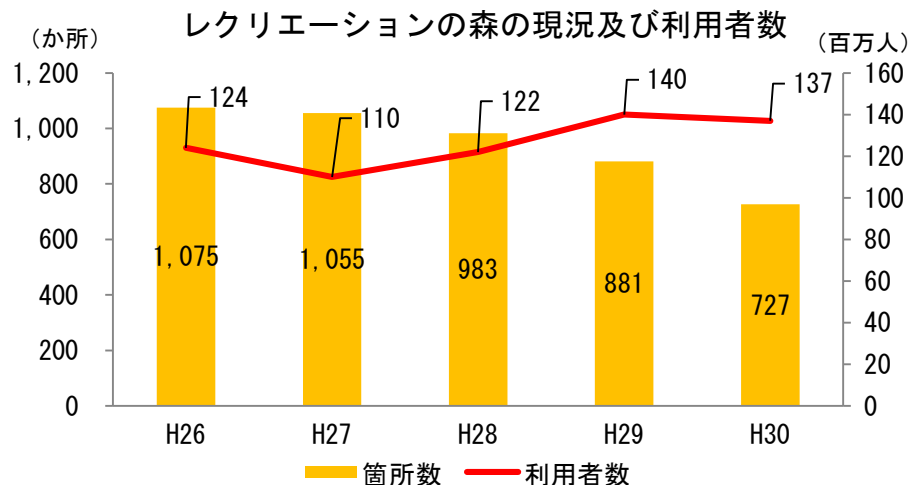


土場への集積作業の様子

(6) 国有林野の活用

○ 公衆の保健のための活用の推進

森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定し、地域と連携した魅力あるフィールドとなるよう取り組むとともに、インバウンド（訪日外国人旅行）推進に向けた情報発信等を実施。



《事例》 動画による「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力の発信

〔高知県安芸郡馬路村〕（林野庁）

「日本美しい森 お薦め国有林」のうち、10階建てのビルよりも高い魚梁瀬杉が見渡す限り林立している千本山風景林ほか3か所において、その魅力をよりわかりやすく発信するため、無人航空機を使用した撮影を行っています。

これらの動画を林野庁ホームページやメディア等で公開することにより、「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力の発信を一層強化していきます。



千本山風景林の動画の一場面

○ 貸付け等、国有林野の活用の適切な推進

農林業をはじめとする地域産業の振興や住民福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体等に対して国有林野の貸付けや売払い等を実施。

国有林野の用途別貸付け等の状況

区分	面積 (ha)
農耕・採草放牧地	10,288
道路敷	14,397
電気・通信事業用地	17,174
ダム・堰堤敷	3,314
森林空間総合利用事業用地	9,015
その他	16,988
合計	71,175

注：1 面積は、各年度期末現在の数値である。
2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。
3 計の不一致は、四捨五入による。

国有林野の用途別売払い状況

区分	面積 (ha)
所管換・所属替	101
公用・公共事業用	75
産業振興用	3
その他	0
合計	178

注：1 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。
2 計の不一致は、四捨五入による。

《事例》 地熱発電事業のための国有林野の貸付け

〔秋田県湯沢市〕（東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署）

再生可能エネルギーである地熱発電事業のための国有林野の利活用要望を受け、「山葵沢地熱発電所」（発電出力46kW）用地のほぼ全域に当たる約25haの国有林野を事業者に貸し付けています。平成27年度から、本格的に建設工事が行われ、令和元年5月に発電所の運転が開始されました。国内では23年ぶりとなる1万kWを超える大規模地熱発電所の稼働となります。



完成した発電所の様子

(7) 国有林野と民有林野の一体的な整備及び保全

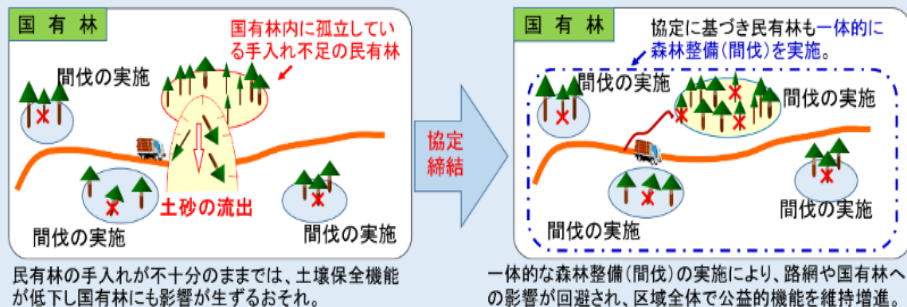
○ 民有林野との一体的な整備及び保全に向けた取組

国有林野に隣接・介在し、国有林野の発揮している公益的機能に悪影響を及ぼすおそれ等のある民有林野について、「公益的機能維持増進協定制」※を活用し、国有林野と民有林野の一体的な間伐や外来樹種の駆除等を実施。

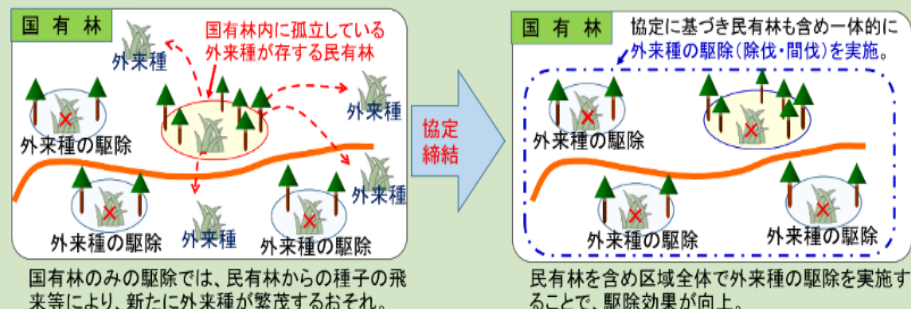
※国有林野に隣接・介在する民有林野について、国有林野の公益的機能の維持増進を図るため必要と認められるとき、森林所有者等と森林管理局長で協定を締結し、当該民有林野及び国有林野の一体的な整備及び保全を行う制度

公益的機能維持増進協定制のイメージ

森林整備(間伐)タイプ



外来種駆除(除伐・間伐)タイプ



公益的機能維持増進協定の締結状況

概要	協定数	協定面積
森林整備(間伐)の実施	18	592.47 ha
外来種の駆除	2	2.96 ha
合計	20	595.43 ha

注：1 平成31年3月末現在の状況。

2 協定数20のうち、森林整備(間伐)について7協定、外来種駆除について2協定は終了している。

《事例》公益的機能維持増進協定に基づく森林整備(間伐)の実施

〔広島県神石郡神石高原町〕(近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署)

国有林に介在する民有林所有者と公益的機能維持増進協定を締結し、一体的に森林整備(間伐)を行い、山地災害の防止や水源の涵養等の森林の公益的機能の維持増進に向けた施策を実施しました。



民有林所有者との打合せの様子



間伐後の林内の様子

(8) 国有林野の事業運営

○ 国有林野の効率的な管理経営

ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署等を設置し、国有林野の管理経営を実施。

また、施業計画の作成等において国有林GISを活用するなど、効率的な管理経営を推進。

《事例》 無人航空機を活用した森林情報の整備

(中部森林管理局)

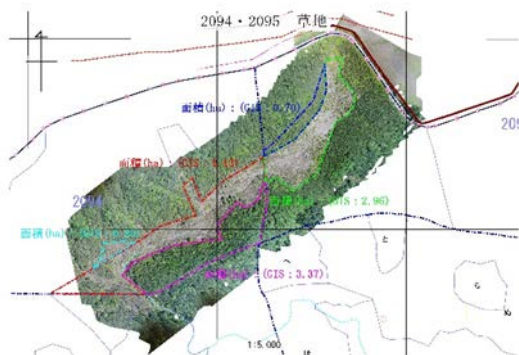
多大な労力と時間を要していた測量に代えて、無人航空機を活用し、自動操縦により撮影した連続写真からオルソ補正^(注)した画像をGISに取り込み、データベース化することで区域確定、距離、面積等を効率的に把握することができました。

今後は、無人航空機による連続写真の撮影等の操作技術の向上を図り、更なる活用方法の検討を行うこととしています。

(注) オルソ補正とは、空中写真上の画像の位置ズレをなくし、地図と同じく、真上から見たような傾きのない、正しい大きさと位置を表示するように変換する作業のこと。



無人航空機の連続写真から作成した3D画像



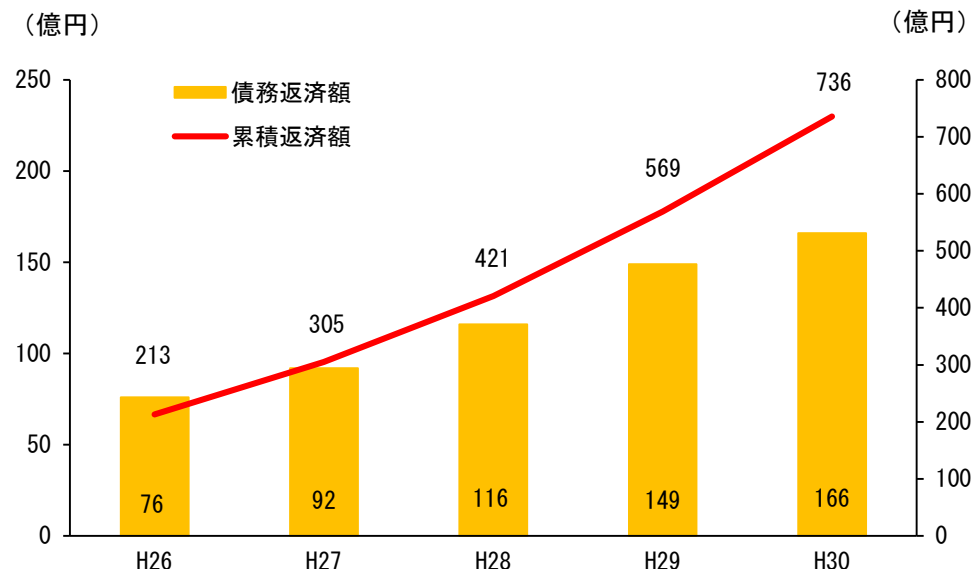
オルソ補正をして
GIS上に取り込んだ図面

○ 計画的かつ効率的な事業の実行

適切な森林整備を通じた収穫量の計画的な確保やコスト縮減等による、計画的かつ効率的な事業を実施。

平成24年度末に国有林野事業特別会計に属していた債務1兆2,721億円については、一般会計への移行に伴い設置された国有林野事業債務管理特別会計に承継され、林産物収入等により返済することとされており、平成30年度は166億円の返済を行い、累積返済額は736億円。

債務返済の状況



注：1 累積返済額には、平成26年度までの返済額213億円を含む。
2 金額は四捨五入した数値である。

(9) その他国有林野の管理経営

○ 人材の育成

国有林野の管理経営をはじめ、民有林への指導やサポートなど森林・林業施策全体の推進に貢献する人材を育成するため、森林・林業に関する専門的かつ幅広い知識や技術等について、地方公共団体職員等との合同研修やOJTなどを実施。

《事例》 治山及び林道の技術研修の実施

〔群馬県桐生市ほか〕（森林技術総合研修所）

森林技術総合研修所では、国土保全及び林業の成長産業化等の施策推進に不可欠な基盤的分野における人材育成を目的として、民有林及び国有林における治山事業及び林道事業を担う技術者を対象に、業務の内容や研修生の業務担当経験に応じた13の研修コースを実施し、都道府県や森林管理局・署の職員等248名が受講しました。



治山施設設計のための現地調査の様子



林道作設のための測量実習の様子

○ 地域振興への寄与

林産物の安定供給や国有林野の貸付け・売払い、事業の民間委託や技術指導等による人材育成等を通じて、地域産業の振興、住民福祉の向上、美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承等に貢献。

《事例》 北海道胆振東部地震によって発生した災害への対応

〔北海道勇払郡厚真町ほか〕（北海道森林管理局）

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震により、多数の山腹崩壊が発生した北海道勇払郡厚真町等において、地震発生当日に北海道と合同でヘリコプターによる被害調査を実施したほか、二次災害の防止と早期復旧を目的として技術職員を派遣しました。

また、被災地における木材の安定供給の確保のため、国有林から、立木約2万6千m³、丸太約2万3千m³を年度当初の計画に対して前倒し・追加供給しました。



被災地の現況調査の様子



ヘリコプターにより確認された森林被害状況



技術職員の派遣による業務支援の様子

○ 東日本大震災からの復旧・復興への貢献

東日本大震災からの復旧・復興に向け、地域に密着した国の出先機関として地域の期待に応えた取組を実施。

生物多様性の保全にも配慮した海岸防災林の復旧・再生や、生活圏周辺の国有林野の除染、地域の復興に必要な国有林野の貸付け等を実施。

《事例》被災した海岸防災林の再生の取組状況

〔宮城県亘理郡亘理町ほか〕（東北森林管理局 仙台森林管理署）

東日本大震災で津波により被災した仙台湾沿岸地区の海岸防災林において、根返りを起こしにくい健全な海岸防災林を復旧・再生するための取組として、防災機能の確保と生物多様性保全との調整を図りつつ、地下水の影響を受けない生育基盤となる盛土とクロマツ等の植栽を順次実施し、要復旧延長のうち約8割において当面の復旧事業を完了しました。

復興・創生機関の最終年である令和2年度までに必要箇所への植栽を確実にを行い、復旧事業を完了させるとともに、それ以降も必要な保育管理を実施し、津波被害軽減効果を期待する健全な海岸防災林の生育を図ることとしています。



平成26年度の状況



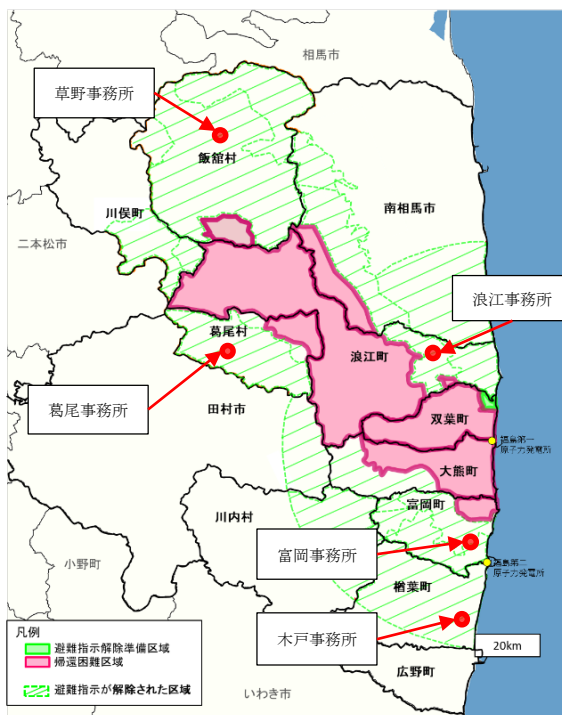
平成30年度の状況

《事例》福島県相双地域における森林整備事業等の本格的な再開

〔福島県相馬郡飯館村ほか〕（関東森林管理局 磐城森林管理署）

磐城森林管理署では、平成29年度に、福島県相双地域の避難指示が解除された区域の国有林において、震災以降行われていなかった森林整備や木材生産を一部再開しました。

平成30年度には、前年度と比較して、除伐で約3倍（117ha）、素材生産量で約6倍（4,089m³）と、相双地域における事業を本格的に再開するとともに、事業量の大幅な増加に対応するため、4月に富岡、葛尾の両森林事務所、10月に草野森林事務所、11月に木戸、浪江の両森林事務所を順次再開しました。



福島県庁公表の避難指示区域のイメージ
（平成31（2019）年4月10日時点）
と再開した森林事務所の位置関係



CLTを活用して修繕のうえ
再開した草野森林事務所



再開した地域における保育間伐後の林内